

# ウインターオーバーシード用品種ラインアップ

環境に優しいウインターオーバーシードを実践する第一歩、それは品種選定。

アニュアルライグラス

## フェアウェイ

トランジションが容易で、ベース芝の密度の低下等のベース芝への影響が一番少ない品種。

## サクラワセ

フェアウェイ同様トランジションが容易な雪印育成品種。

ペレニアルライグラス

## ビビットグリーン

従来品種に比較してトランジションが早く、ベース芝に優しいウインターオーバーシード専用品種。

## アドベント、APM

濃緑、高密度で耐暑性に優れている。トランジションを期待しない通年利用の場面に適する。

ウインターオーバーシードを実施している  
日立柏サッカーグラウンド



## 【ウインターオーバーシードのポイント】

### ① 目的に合わせた品種の使用と組み合わせが重要

目的-1：トランジションを最重要視するタイプ

使用品種：フェアウェイ、サクラワセ

目的-2：芝質を重視したトランジションを求めるタイプ

使用品種：ビビットグリーン、フェアウェイ

目的-3：トランジションをしなないタイプ

使用品種：アドベント、APM

### ② 播種から年内の施肥の徹底

オーバーシードした品種の冬期緑度保持と翌年のトランジションの良否にもつながります。

使用場面別ウインターオーバーシード播種設計（案）

使用場面	播種量	使用品種及び混播例	備考
ゴルフ場	ティ	ビビットグリーン	単播 芝質重視型
		アドベント、APM	単播 通年利用型（秋期2回播種）
	フェアウェイ	ビビットグリーン、フェアウェイ	単播利用又は混播利用
		(例) ビビットグリーン×フェアウェイ	
		100%× 0%	単播 芝質重視型
		70%× 30%	混播 芝質重視のトランジション型
サッカー場等の スポーツグラウンド	30~50 g/m <sup>2</sup>	50%× 50%	混播 トランジション・芝質中間型
		30%× 70%	混播 トランジション重視の芝質型
		0%× 100%	単播 トランジション重視型
		同上	